

前回会議（R7.7.7開催）時の意見及び質問事項への回答

No.	意見・質問	回答
1	<p><土曜保育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜保育の実施を断られているということを把握していないということだが、把握して、現状を報告してほしい。 ・休日保育についての周知方法については今後検討したいとあるので、具体的にどのようにしていくかを回答してほしい。 	<p>【保育課】</p> <p>○土曜保育の利用制限について、施設（以下「施設A」という。）を確認をした。</p> <p>土曜保育の利用申請について、職員不足を理由に月2回までとしていた。今年度については土曜保育に関する苦情は園には届いていないとのことであった。</p> <p>経緯については次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度の対応 <p>年度当初に保護者会総会を開催。職員不足による土曜保育制限を周知。その後保護者会総会の内容も踏まえた通知を全保護者に配布。どうしても理解を得られなかった保護者を集めて保育士等の配置基準に関するデータを元に説明会を開催し、改めて理解を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R7年度の対応 <p>R6年度同様の状況が想定されることから、R7年入園希望の園見学者、電話による問い合わせ、入園説明会等の折に土曜保育利用制限（月2回）について、丁寧な説明を繰り返している。</p> <p>○休日保育の周知については、保育認定を受けている全保護者に対し、「保育の実施について」という冊子やHPでも周知をしている。現状、休日保育について、利用者からも特に意見等はない。引き続き周知に努めたい。</p>

2	<p><病児病後児保育について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用ニーズについて把握する必要があると思う。回答がほしい。 	<p>【保育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○病児病後児保育の利用ニーズについて 第3期那須塩原市子ども・子育て未来プラン（令和7～11年度）」の策定に当たり、調査を実施した。 ・調査期間：令和6（2024）年2月・3月 ・調査対象：那須塩原市在住の未就学児がいる家庭の保護者（配布数2,000票（回収数1,226票、回収率61.3%）） <p>その調査項目、⑤病気の際に利用したい事業についての調査結果は次のとおりとなっています。</p> <p>お子さんが病気の際に父母が仕事を休んで看られない場合の利用したい事業は、「通園している保育園や認定こども園での体調不良児対応型保育事業」が62.8%と最も高く、次いで「幼稚園、保育園、認定こども園や、病院に併設された施設で行う病児保育事業」が37.8%、「幼稚園、保育園、認定こども園や、病院に併設された施設で行う病後児保育事業」が29.7%となっている。</p>
3	<p><おむつのサブスクリプションについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討した結果を文書で出してほしい。 	<p>【保育課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公立保育園（7園）における検討結果は、別紙1のとおり。 ○おむつのサブスクリプションサービスの導入について、各園から多くの懸念材料が示されたため、それらの内容を精査の上、引き続き検討課題とする。
4	<p><発達支援システムについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3期子ども・子育て未来プラン事業令和7(2025)年度及び最終目標値設定の中で 事業取組名：発達支援体制の充実 取組内容：発達に支援が必要な子どもとその保護者に対して、各ライフステージで関係機関から提供される個別の支援計画を次のライフステージで支援を行う関係機関に切れ目なくつないでいく「縦の連携」と、保健・医療・保育・教育・福祉・就労などの関係機関と連携する「横の連携」により、一貫した支援を提供する発達支援システムを推進し、発達支援体制の充実を図ります。 <p>とあり、この事業取組の最終年度の目標が「発達支援システムつなぐ支援を利用してよかったと思う人の割合 64%」とあるが、この・目標値の64%の理由は。</p>	<p>【子育て相談課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「発達支援システムつなぐ支援を利用してよかったと思う人の割合」の目標としている数値の根拠は、「第3期那須塩原市発達支援システム推進計画（現行計画R5～9年度）」策定時のアンケート調査の数値である。 ○現行計画のアンケート調査結果（R3）では、「満足が45%、不満足17%、わからない38%」であった。 ○今回の目標として満足度の向上を目指し、前回「満足」と回答した割合の維持、「わからない」と回答した割合の半数程度が「満足」と回答してもらえるよう、当該目標値を設定した。